

ビデオカメラ レコーダー Hi8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

とにかく
撮って見る
4ページ～

準備
8ページ～

撮る
13ページ～

見る
18ページ～

使いこなす
21ページ～

その他
50ページ～



video Hi8
Handycam

CCD-TR290PK

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

ファインダー内の映像の説明には、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

目次

とにかく撮って見る	4
うまく撮る姿勢	6

準備

準備1 バッテリーを取り付ける	8
準備2 バッテリーを充電する	9
準備3 カセットを入れる	11
準備4 ファインダーを調節する	12

撮る

撮影する	13
撮影内容を確認する	17

見る

テレビにつなぐ	18
テレビで見る	19

使いこなす

撮影

逆光を補正する	21
効果的な場面転換をする - フェーダー	22
暗闇で撮る	
- NIGHTSHOT(ナイトショット)	24
横長の画面にする - ワイドTVモード	25
画像に特殊効果を加える	
- ピクチャーエフェクト	26
画像の明るさを調節する	27
目的に合わせて撮る - プログラムAE	28
手動でピントを合わせる	30
タイトルを入れる	31
タイトルを作る	33
撮影中に手動で日時を記録する	35
テープに合わせてきれいに撮る	
- ORC設定	36
内蔵ビデオライトを使う	37
ランプを交換する	39

編集

他のビデオへ録画する	40
その他の使いかた	
バッテリー以外の電源で使う	41
メニューで設定を変える	42
日付・時刻を合わせ直す	46
時差補正	48

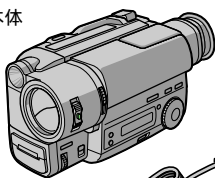
その他

ボタン型リチウム電池を交換する	50
使えるビデオカセットと記録・再生方式	51
“インフォリチウム”バッテリーを ご利用いただくために	52
故障かな?と思ったら	53
警告表示とお知らせメッセージ	56
自己診断表示 - アルファベットで始まる 表示が出たら	57
お手入れ	58
主な仕様	59
保証書とアフターサービス	60
海外で使うとき	60
各部のなまえ	61
用語解説	67
索引	69
こんなときはこの機能	70

とにかく撮って見る

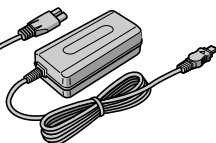
必要なもの

本体

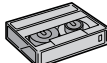


電源コード
(ACパワーアダプターに付属)

ACパワーアダプター

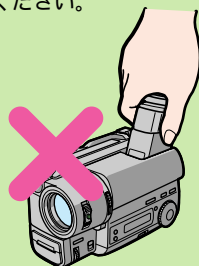


8ミリビデオカセット



Hi8マークのついたHi8(ハイエイト)テープをおすすめします。

ビューファインダーをつかんで、本機を持ち上げないでください。



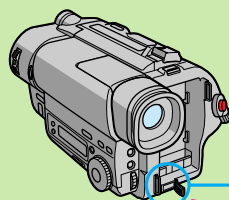
1 電源をつなぐ(41ページ)

屋外ではバッテリーを使います 8ページ

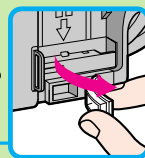
コンセントへ



電源コード



DC入力端子
カバーを開ける。

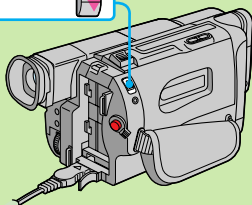


▲マークを上にする。

2 カセットを入れる(11ページ)

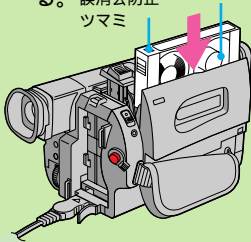
- ① カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

押しながら

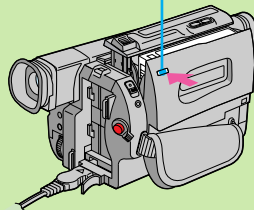


- ② テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にしてカセットを入れる。誤消去防止ツマミ

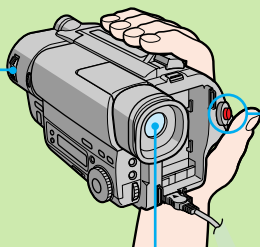
テープ窓



- ③ **PUSH** マークを押して、カセット入れを閉める。(カセット入れが自動で下がります。)



3 撮影する(13ページ)

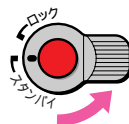


ファインダー
この部分に目を当てて画像を見ます。

- ① 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。



- ② スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
ファインダーに画像が見える。

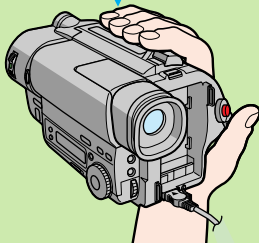


- ③ 赤いボタンを押す。
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

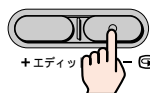


とにかく撮って見る

4 撮影できたか、ちょっと確認する(17ページ)



エディットサーチⓂボタンをポンと1回押す。
最後に撮影した場面を数秒間見られる。



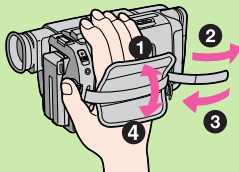
本機の機能が一覧できるデモンストレーションが見られます(45ページ)。

うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないように、安定した姿勢で撮影しましょう。

アイカップを目に
しっかりあてる。

グリップベルトを
しっかりしめる。

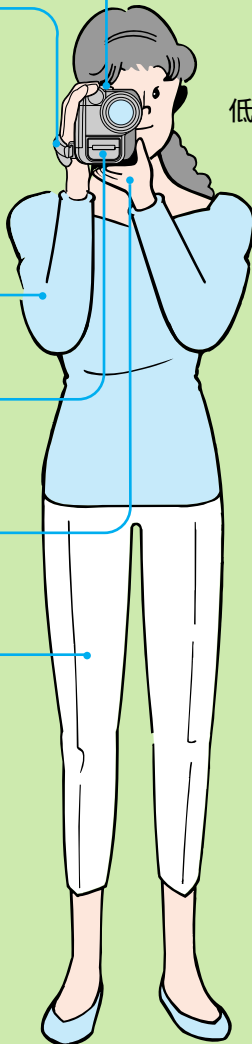


右わきをしめる。

マイクに手が触れ
ないようにする。

左手はハンディカムの下
にそえて安定させる。

体がふらつかないよう
に、少し足を開く。



低い位置で撮る姿勢(ローアングル)

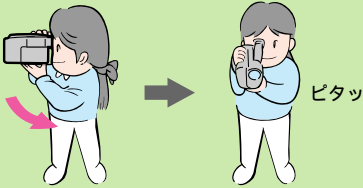
ビューファインダー
を持ち上げる。



撮影の基本

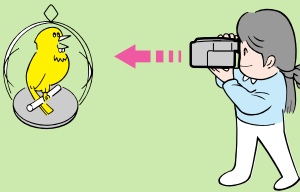
ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき(パンニング)は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。



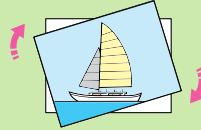
ズームは多用しない。

ズームレバーをW側(Wide: 広角)にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームレバーをT側(Telephoto: 望遠)にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。



安定した画面にする。

- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をファインダーの枠に合わせる。

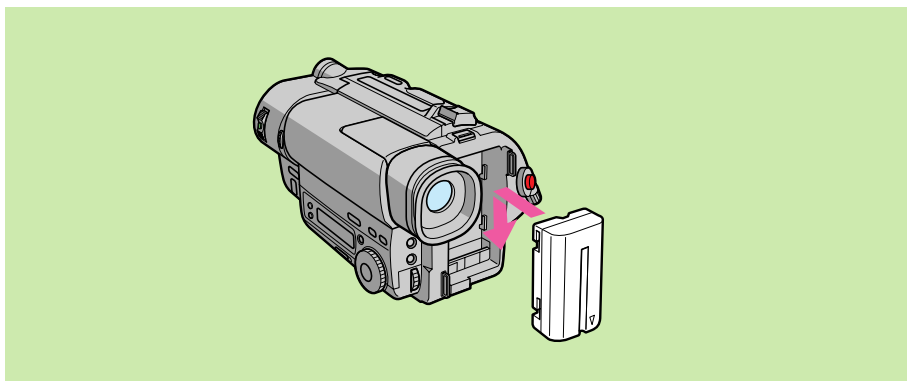


- 三脚を使う。
ネジの長さが6.5mm未満のものをお使い下さい。ネジの長い三脚ではしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

準備1 バッテリーを取り付ける



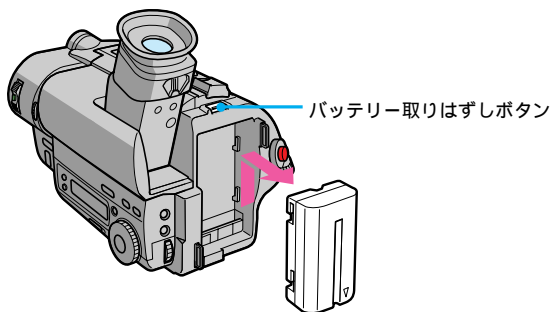
バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を
持ち運ばないでください。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーには (i) InfoLITHIUM マークが
付いています。
InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の
商標です。

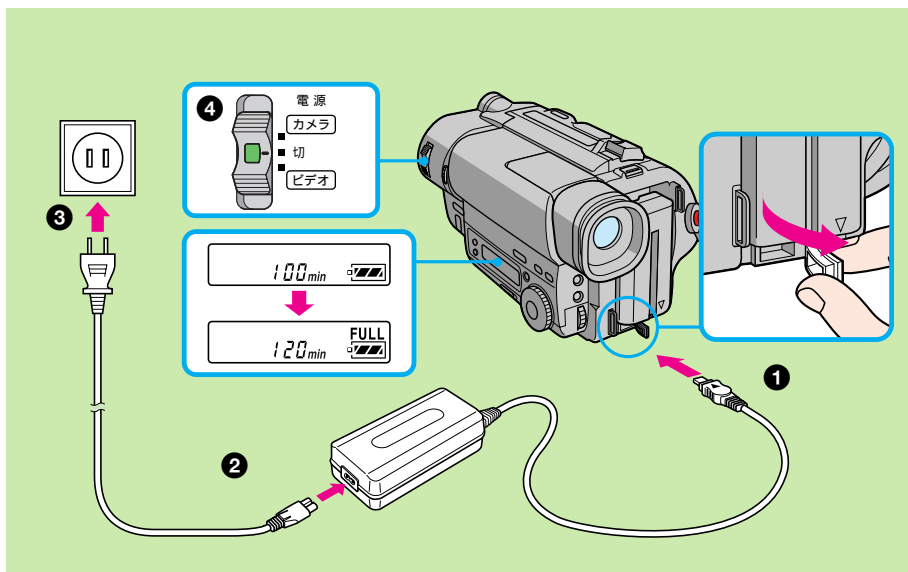
矢印のように、バッテリーを押しながら下へずらす。
バッテリーは確実に本体に取り付ける。

本体から取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリーを上へずらし、取りはずす。



準備2 バッテリーを充電する



ご注意

ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

表示窓に表示されるバッテリー残量時間は連続撮影時間の目安です。実際の連続撮影時間とは異なることがあります。


はじめてバッテリーを使うときバッテリー残量が表示窓に表示される場合があります。これは工場ですら充電して出荷するためですが、十分な充電はされていません。あらためて充電してからご使用ください。

バッテリー残量を計算するまでは表示窓には“ --- min ”が表示されます。

1 DC入力端子カバーを開け、ACパワーアダプターのコードを▲マークを上にして、本機のDC入力端子につなく。

2 電源コードをACパワーアダプターにつなく。

3 電源コードをコンセントにつなく。

4 緑のボタンを押しながら、「切」にする。
充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。
充電が終わると、バッテリー残量表示が「」になる（実用充電）。さらに約1時間、「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える（満充電）。



準備2 バッテリーを充電する(つづき)

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターをDC
入力端子から抜いて下さい。

撮影中のバッテリー残量時間
表示

“インフォリチウム”バッテリーをお使いのときはあと何分連続撮影で使えるかを表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。バッテリーが寿命のときはメッセージが出ます。

充電時間

バッテリー (NP-)	満充電時間 (実用充電時間)
F330(付属)	約150分 (約90分)
F530/CF540/F550	約210分 (約150分)
F730/F750	約300分 (約240分)
F930/F950	約390分 (約330分)

使い切ったバッテリーを充電したときの時間です。
低温では充電時間が長くなります。

使用時間

バッテリー (NP-)	連続撮影時*	実撮影時**
F330(付属)	約135(120)分	約70(60)分
F530	約235(210)分	約120(110)分
CF540	約265(240)分	約140(125)分
F550	約270(240)分	約140(125)分
F730	約475(425)分	約250(225)分
F750	約550(500)分	約290(265)分
F930	約745(670)分	約390(355)分
F950	約850(760)分	約450(400)分

満充電してから使用したときの時間。

()内は実用充電してからの使用時間。

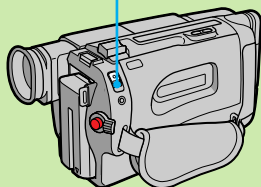
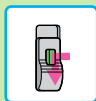
* 気温25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

** 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなる場合があります。

準備3 カセットを入れる

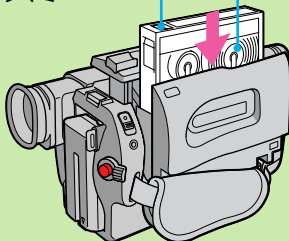
Hi8(ハイエイト)方式で記録するときには、**Hi8**マークのついたHi8テープを使います。

1



2

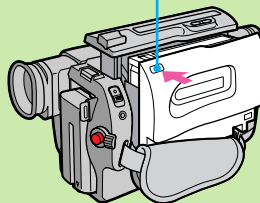
誤消去防止
ツマミ



3

テープ窓

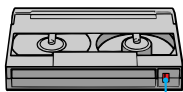
PUSH マーク



ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

大切な映像を間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして、赤い色が見えるようにします。



録画できない 録画できる
(誤消去防止状態)

1

カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

カセット入れが自動的に上がって、開く。

2

カセットを入れる。

テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にして入れる。

3

PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。

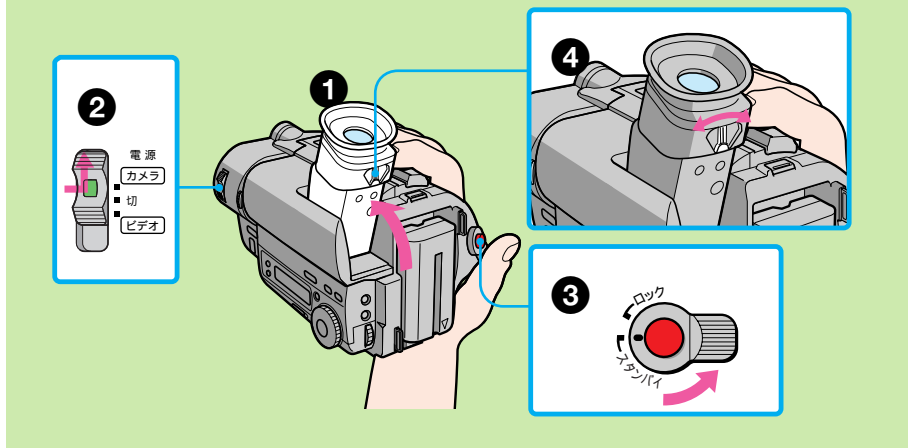
カセット入れが自動的に下がる。

カセットを取り出す

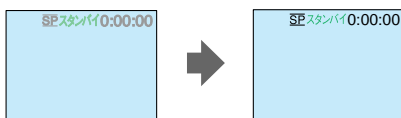
「カセットを入れる」の手順1のとおりで操作し、カセット入れが完全に開いてからカセットを取り出す。

準備4 ファインダーを調節する

ファインダー内の画像がはっきり見えないときは、自分の視力に合わせて調節します(視度調節)。

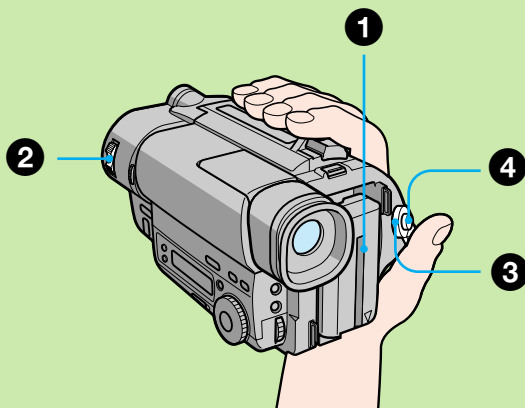


- 1 ビューファインダーを上げる。
- 2 緑のボタンを押しながら、「カメラ」にする。
- 3 スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
- 4 視度調節ツマミを動かす。
ファインダーの文字がはっきり見えるように調節する。



撮影する

ピント合わせを自動にすると、簡単に撮影することができます。



ご注意

- カラービューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません（有効画素99.99%以上）。これらの点は、録画したテープには記録されません。
- ファインダーやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

テープの最初から撮影するときは

15秒ほどテープを送ってから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機で再生したときに、初めの部分が欠けることがあります。

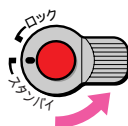
- 1** バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1～4」(8～12ページ)をご覧ください。

- 2** 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。レンズカバーが開く。



- 3** スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。



撮影スタンバイ



撮影する(つづき)

1日1回、撮影のはじめの10秒間に撮影日が自動的に記録されます

(オートデート機能)

10秒間の記録が終わると

「オートデート」表示は消えます。

次のときはオートデート機能が1日に2回以上働きます。

- 10秒間に以内に撮影を止めたとき
- カセットを入れ換えたとき
- 日時を合わせ直したとき

きれいなつなぎ撮りのためにカセットを取り出さない限り、電源を切っても、撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーを交換するときは、スタンバイスイッチを「ロック」にしてから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。

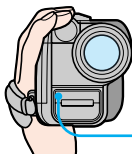
撮影スタンバイの状態が5分以上続くと

自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消費を防ぎ、テープを保護するためです。再びスタンバイの状態にするには、スタンバイスイッチを一度「ロック」にしてから、あらためて「スタンバイ」に戻します。

テープカウンターの表示を「0:00:00」にするときはカウンターリセットボタンを押します(62ページ)。

4 スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まる。



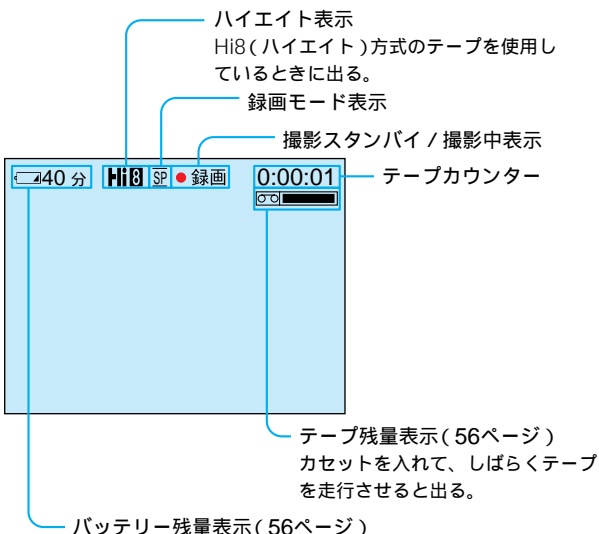
撮影中に点灯する。

撮影を止めるには

もう1度スタート/ストップボタンを押す。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。



ご注意

- 「5秒」[↓]「地面撮り防止」を選ぶと、フェーダーボタンの機能は働きません。
- 「5秒」を選ぶと、テープカウンタは表示されません。

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだときファインダーに「

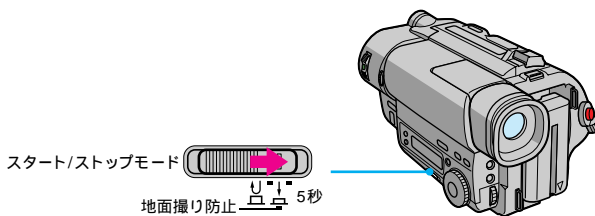
」が出て1秒たつごとに1つずつ消えます。撮影時間を延長するには 必ずすべて消えてしまわないうちに、もう1度スタート/ストップボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影されます。

近くのものにピントがうまく合わないときはズームレバーをW側に動かして広角にします。被写体にピントを合わせるために必要な距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。ズーム機能を使いすぎると、見づらい作品になります。

デジタルズームについて

- デジタルズームを使うとズーム倍率は最大72倍になりますが、画質は劣化します。これは画像をデジタル処理するためです。
- デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます(45ページ)。

スタート/ストップモードを選ぶ



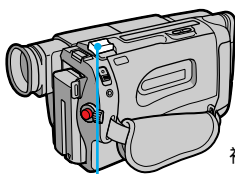
⏪ : スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

⏩ 地面撮り防止 : スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。誤って地面などを撮ってしまうことを防ぎます。

5秒 : スタート/ストップボタンを押すと、5秒間撮影して自動的に止まります。

ズームする

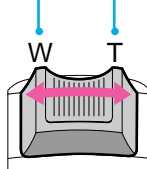
ズームレバーを動かす。



軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。

被写体が小さくなる
ワイド (広角 : Wide)

被写体が大きくなる
テレフォト (望遠 : Telephoto)



18倍を超えるズームはデジタルズームになります。

このラインよりT側がデジタルズームになります。



撮影する(つづき)

ご注意

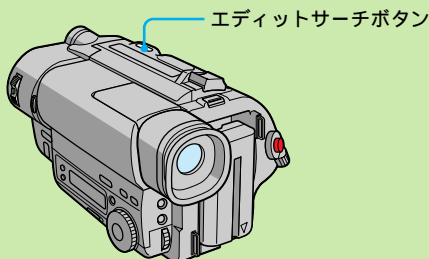
長期間使わないときは
内蔵ビデオライトが誤って点
灯しないように、バッテリー
を取りはずしてください。

撮影が終わったら

- 1 スタンバイスイッチを「ロック」にする。
- 2 カセットを取り出す。
- 3 電源スイッチを「切」にする。

撮影内容を確認する

撮った画面をちょっと確かめたいときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

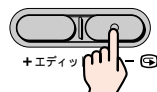


長い内容を確認したいとき電源スイッチを「ビデオ」にすると、ファインダーで再生画像が見られます。操作は19ページ「テレビで見る」の手順2から4と同じです。

最後の場面を確認する - レックレビュー

[撮影スタンバイ中]に

エディットサーチボタンの - 側をポンと1回押す。

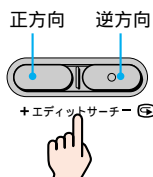


最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。音は出ない。

正方向または逆方向に再生する - エディットサーチ

[撮影スタンバイ中]に

エディットサーチボタンの再生したい側を押し続ける。

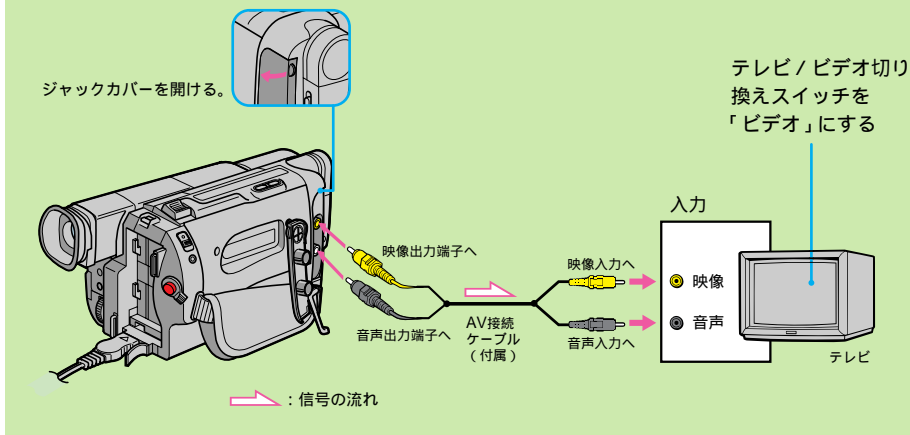


指を離れたところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

テレビにつなぐ

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。

電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします(41ページ)。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



テレビ画面にカウンターなどの表示を出すにはリモコンの画面表示ボタンを押します。消すときはもう1度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力(ライン)」にしてください。

音声入力端子がふたつ(ステレオ)のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル(付属)の黒いプラグをテレビの音声入力左(白い端子)だけにつなぐ。

映像/音声入力端子のないテレビにつなぐとき

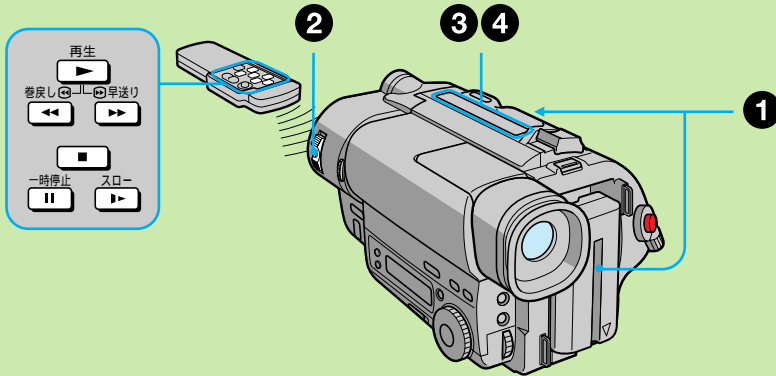
別売りのRFUアダプターでつなぐ。

テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見ます。本機のファインダーでも画像が見られます。

本体だけでなく、リモコンでも操作できます。

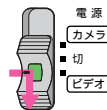


ご注意

- 電源スイッチを「ビデオ」にしているときには、レンズカバーは開きません。無理に開けようとすると、故障の原因になることがあります。
- 外国製のビデオソフトのなかには本機で再生できないものがあります。これはカラーテレビの方式が異なるためです。「海外で使うとき」の項目で国ごとのカラー方式を確かめてください(60ページ)。

1 バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

2 緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。



3 巻戻しボタンを押す。

巻き戻しが始まる。



4 再生ボタンを押す。

画像が映る。



見る

テレビで見る(つづき)

変速再生中は
音声は出ません。

一時停止(静止画)について
5分以上続けると自動的に停止
状態になります。再生すると
きは、もう1度▷再生ボタン
を押します。

スロー再生について
1分以上続けると自動的にふつ
うの再生に戻ります。

いろいろな再生

静止画を見る

[再生中]に■一時停止ボタンを押す。
もう1度押すか、▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中]に▶▶早送りボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中]に◀◀巻き戻しボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り / 巻き戻しする(ピク チャーサーチ)

[再生中]に▶▶早送り / ◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り / 巻き戻し中に画像を見る(高速アクセス)

[早送り中]または[巻き戻し中]に▶▶早送り / ◀◀巻き戻しボタ
ンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

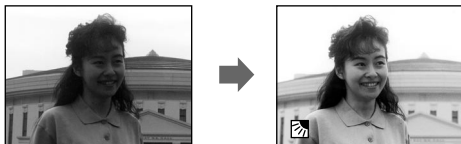
[再生中]にリモコンの▶▶スローボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

止める

[再生中]に□停止ボタンを押す。

逆光を補正する

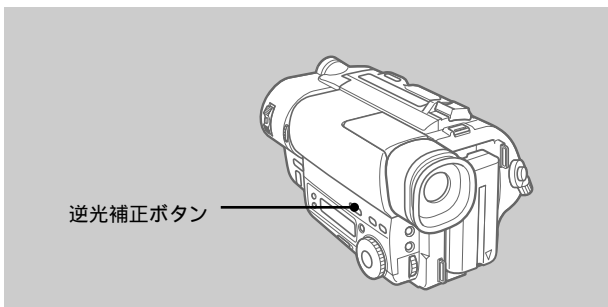
背景が明るく被写体が暗めな逆光のときは、明るさ補正をして撮ります。



いつ使う?

- 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るとき。
- 画面の中に強い光を発するものがあるとき。
- 白っぽい被写体が白い背景の前にいるとき。

明るさボタンを押すと逆光補正は解除されます。



[撮影スタンバイ中] または [撮影中] に逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示図が出る。
被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

逆光補正ボタンをもう1度押して、逆光補正表示図を消す。

効果的な場面転換をする - フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり(フェードイン) 逆に徐々に消

したり(フェードアウト)して効果的な場面転換を演出するときに使います。

フェードイン

フェーダー



モザイクフェーダー



バウンド*
(フェードインのみ)



フェードアウト

モノトーンフェーダー

フェードインは白黒から徐々にカラーに、
フェードアウトはカラーから徐々に白黒になります。

* メニューのデジタルズームが「入」になっているときは、バウンドは使えません。

こんなときに使うと効果的です

- 大きな場面転換(フェードイン・フェードアウト)
- 物語の始めなど(フェードイン)
- 一日の終わりなど(フェードアウト)
- 余韻を残して場面を変えたいとき

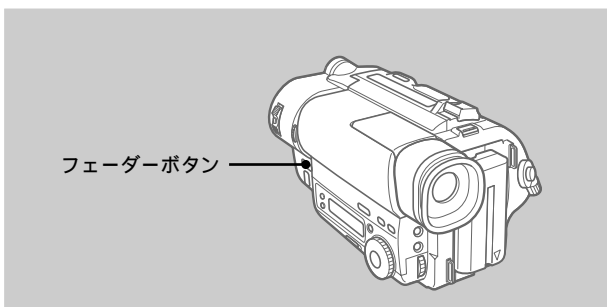
フェードを多用すると被写体の状況がわかりづらくなり、見づらい映像になります。

日付や時刻表示、タイトルはフェードしません
不要の場合は、日付、時刻表示、タイトルなどを消してから行ってください。

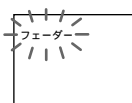
スタート/ストップモードが「↓地面撮り防止」または「5秒」のときフェードイン・フェードアウトはできません。

バウンド中には以下の操作ができません

- 明るさ調節
- フォーカス
- ズーム



- 1 • フェードインは[撮影スタンバイ中]に
• フェードアウトは[撮影中]に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。



押すたびに変わります。
フェーダー モザイクフェーダー バウンド
モノトーンフェーダー (表示無し)
前回使ったモードが最初に表示されます。

バウンドを使うときは
メニューでデジタルズームを「切」にしてください。

以下の操作中にはバウンドが表示されません。

- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクトボタンを使う操作
- プログラムAEボタンを使う操作

- 2 スタート/ストップボタンを押す。

フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

フェード終了後：自動的に解除される。

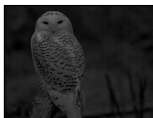
フェード前：スタート/ストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、フェーダーモード表示を消す。

暗闇で撮る - NIGHTSHOT(ナイトショット)

夜間、明かりのない場所で撮影することができます。

いつ使う? 夜行性の動植物を観察するときやキャンプなど。

通常の撮影



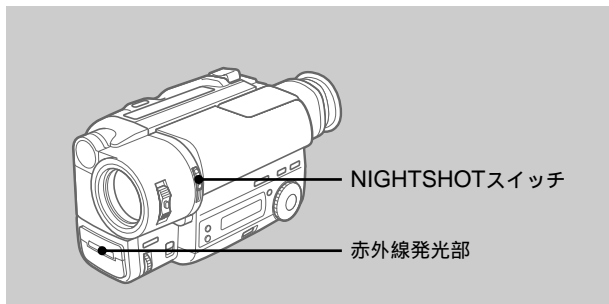
NIGHTSHOT




ご注意

- 屋外などの明るいところではNIGHTSHOT(ナイトショット)で撮影しないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTをご使用時は、以下の操作はできません。
 - プログラムAE
 - 画像の明るさ調節
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくい時は、マニュアルフォーカスをご使用ください。

NIGHTSHOTライトは赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。



1 [撮影スタンバイ中]に
NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

2 スタート/ストップボタンを押す。
NIGHTSHOTインジケーター  と「NIGHTSHOT」の表示が出る。

NIGHTSHOTを解除する

NIGHTSHOTスイッチを「切」にする。

NIGHTSHOTライトを使うとき

メニューで「N.S.ライト」を「入」にすると、画像がよりはっきりします(42ページ)。

横長の画面にするーワイドTVモード

再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

いつ使う?

- ・ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき。
- ・ふつうのテレビで横長の画面にしたとき(画面の上下に黒い帯が入ります)。

ワイドシネマモード
撮影中



テレビで再生



ワイドテレビで再生



テレビをズームモードに切り換える



ワイドフルモード
撮影中



テレビで再生*



*画像が縦長になります。

ワイドテレビ*で再生



テレビをフルモードに切り換える

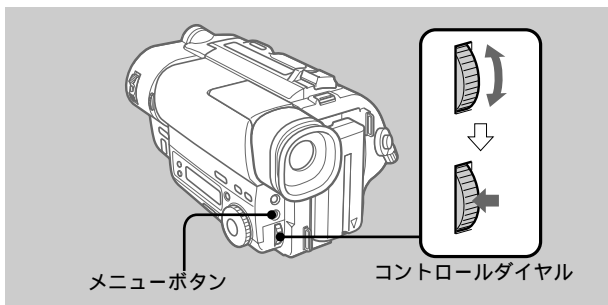


ワイドTVモード中は
フェーダーのバウンドは使用
できません。

日付・時刻表示は
「ワイドフル」で記録する
と、ワイドテレビで見ると
は横長の文字になります。

ビデオIDシステム(ID-1)
方式対応テレビに接続すると
ワイドTVモードで記録され
たテープを再生すると、自動
的にモードが切り換わって画
面いっぱいに映ります。

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、
解除したりできません。



メニューボタン

コントロールダイヤル

[撮影スタンバイ中]に
メニューで希望のワイドTVモード表示を選ぶ。
(45ページ)

ワイドTVモードを解除する
メニューで「切」を選ぶ。

使いこなすー撮影

画像に特殊効果を加える - ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。



パステル
淡い色のパステル
画のように



ネガアート
写真のネガフィル
ムのように



ソラリ
明暗をはっきりさ
せたイラストのよ
うに



モザイク
タイルを組み合わ
せたように



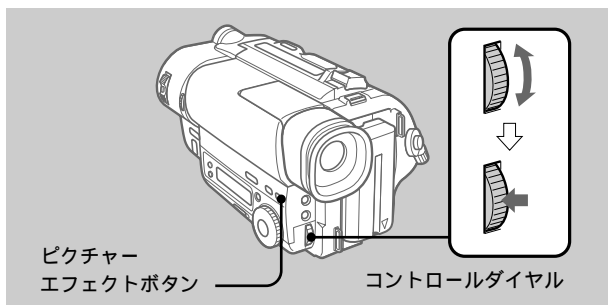
スリム
縦に引き伸ばした
ように



ストレッチ
横に引き伸ばした
ように

セピア 古い写真のような色合いに モノトーン 白黒に

電源スイッチを「切」にする
と
ピクチャーエフェクトは自動
的に解除されます。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
ピクチャーエフェクトボタンを押す。
ピクチャーエフェクト表示が出る。

- 2 コントロールダイヤルを回して希望のピク
チャーエフェクト表示を出す。

モザイク

次の順で変わります。
パステル↔ネガアート↔セピア↔モノトーン
↔ソラリ↔モザイク↔スリム↔ストレッチ

ピクチャーエフェクトを解除する
ピクチャーエフェクトボタンを押す。

画像の明るさを調節する

画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。自動では被写体をはっきり映るように調節するため、実際よりも明るく映ることがあります。

いつ使う?

- 逆光補正を細かく行いたいとき。
- 背景に比べて、被写体が明るすぎる時。
- 夜景を撮影したいとき。

ご注意

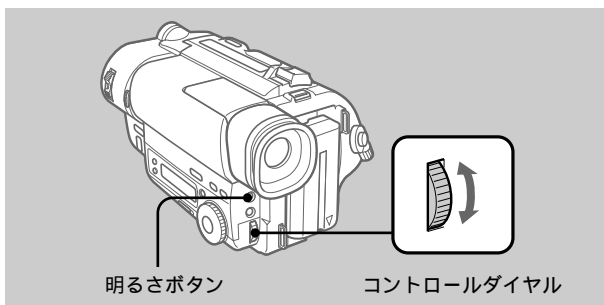
明るさを調節しているときは逆光補正はできません。

NIGHTSHOTご使用時は画像の明るさは調節できません。

コントロールダイヤルは両方向へ回ります
回転が止まる位置はありません。

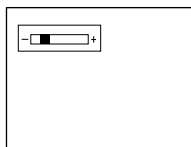
明るさを調節しているときにプログラムAEのモードを変えると明るさ調節は自動に戻ります。

暗いところで撮影するときは内蔵ビデオライト、またはビデオライト(別売り)を使うことをおすすめします。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に明るさボタンを押す。

明るさ表示が出る。



- 2 コントロールダイヤルを回し、明るさを調節する。

自動調節に戻す

明るさボタンを押す。

目的に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況に合わせて、露出を自動的に調節します。



スポットライトモード
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。



ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山(スキー場)などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。



ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。また肌色がきれいになるようにします。



サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインなどを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。



スポーツレスモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。



風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに、景色をはっきりさせます。また、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

ご注意

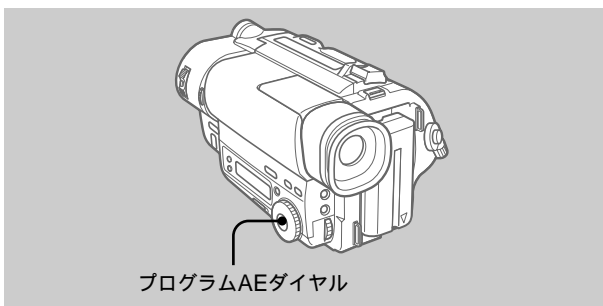
- 次のモードでは近くのものにピントが合わないよう
にフォーカスを制御します。
 - スポットライトモード
 - スポーツレックスモード
 - ビーチ&スキーモード
- 次のモードでは遠景のみに
ピントが合うようフォーカスを制御します。
 - サンセット&ムーンモード
 - 風景モード

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると

次のモードでは画面が急に明るくなったりする現象(フリッカー)が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。

- ソフトポートレートモード
- スポーツレックスモード

NIGHTSHOTご使用時はプログラムAEの機能は使えません(プログラムAE表示が点滅します)。



[撮影スタンバイ中] に
プログラムAEダイヤルを回して希望のプログラムAEモードのマークを白丸マークに合わせる。

自動調節に戻すとき

プログラムAEダイヤルを回してダイヤルの白丸マークと本体側のマークを合わせる。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。



いつ使う？

- 自動ではピントが合いにくいとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき。
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき。

こんなときに使うと効果的です


- 被写体が水滴のついた窓越しにあるとき
- 被写体が横縞だけのものとき
- 被写体と背景とのコントラストが弱いとき

このようなときには自動でピントが合いにくいことがあります。

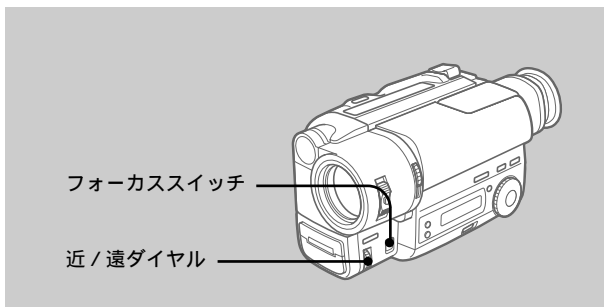
暗い室内で撮るときや明るい野外で動きの激しいものを撮るとき


T側(望遠)で手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側(広角)で撮ります。

近づいて大きく撮るときズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります

- ▲ 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にフォーカススイッチを「手動」にする。
手動ピント合わせ表示が出る。

- 2 近/遠ダイヤルを回し、ピントの合う位置を調節する。

自動調節に戻すとき

フォーカススイッチを「自動」にする。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカススイッチを「無限」に合わせると、ピントは無限遠になる。

指を離すとピント合わせが手動に戻る。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがってしまうときに使います。

タイトルを入れる

撮影中の画像にタイトルを入れることができます。あらかじめ記憶している8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2

種類(33ページ)の中から内容にあったものを選びます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。




ご注意

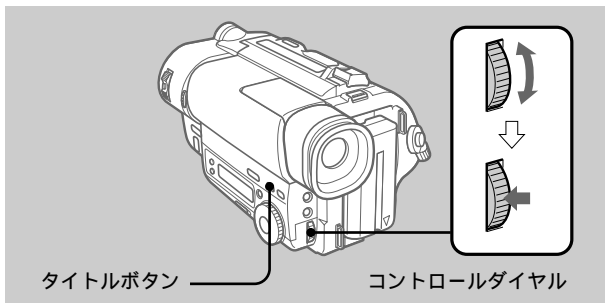
- タイトル文字のサイズや位置によっては、日付・時刻表示の両方、または片方が表示されないことがあります。
- 12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズの決定後、通常サイズに戻ります。

タイトルを入れて撮影しているときは

- メニューを出すとメニューが出ている間はタイトルが記録されません。
- フェーダーを使ってもタイトルはフェードしません。

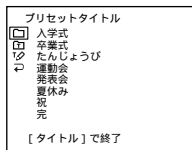
オリジナルタイトルを入れるときは


手順2で「」を選びます。オリジナルタイトルが作成されていないと、タイトル表示欄に「---」と表示されます。

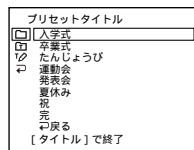
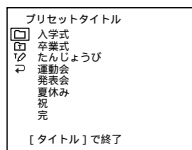


撮影の始めから入れるとき

- 1 [撮影スタンバイ中]にタイトルボタンを押す。



- 2 コントロールダイヤルを回して、「」を選び、ダイヤルを押す。



タイトルを入れる(つづき)

設定表示と表示順

「色設定」

しろ↔きいろ↔むらさき
↔あか↔みずいろ↔みどり
↔あお

「サイズ設定」

ちいさい↔おおきい

「位置設定」

1↔2↔3↔4↔5↔6↔
7↔8↔9

大きい数字になるほど位置が
下になります。

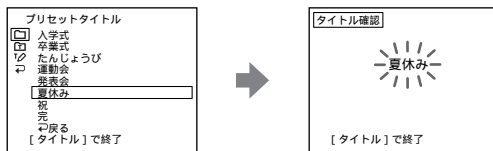
サイズ設定で「おおきい」を
選んだときは、9の位置は選
べません。

タイトルの選択 / 設定操作を
しているときは
画面に出ているタイトルは記
録できません。

撮影の途中でタイトルを入れ
るときは
おしらせブザーは鳴りませ
ん。

- 3 コントロールダイヤルを回して、入れたいタイトルを選びダイヤルを押す。

タイトルが点滅する。

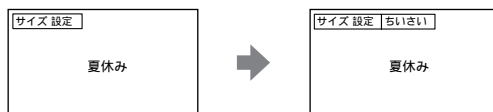


- 4 色、サイズ、位置を選択する。

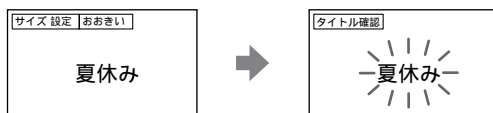
表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順5にすすむ。

- 1 コントロールダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、ダイヤルを押す。

選べる項目が出る。



- 2 コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。



- 3 必要なだけ1、2を繰り返す。

- 5 コントロールダイヤルを押して、タイトルを表示する。

- 6 撮影を始める。

- 7 タイトルを消したい場面でタイトルボタンをもう1度押す。

撮影の途中でタイトルを入れるとき

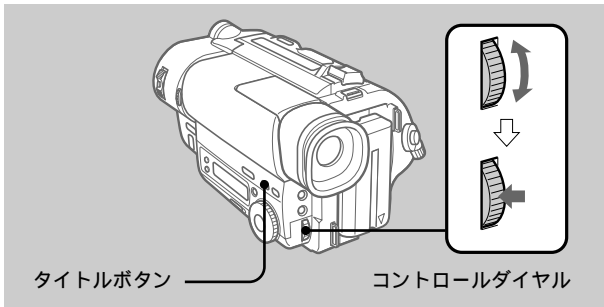
撮影中に、タイトルボタンを押し、「撮影の始めから入れるとき」の手順2から5を行う。手順5でコントロールダイヤルを押した時、タイトルが入る。

タイトルを作る

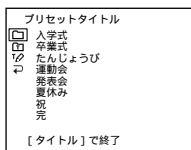
オリジナルのタイトルを作り、本機に記憶できま
す。保存できるタイトルは2種類、長さ
は20文字までです。

手順6で、作ったタイトルが
20文字になると
それ以上文字を選択すること
はできません。

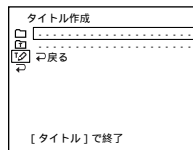
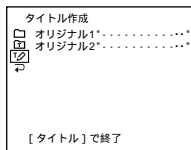
本機にカセットを入れ、撮影
スタンバイ状態でタイトルを
作成するとき
5分以上経過すると自動的に
電源が切れますが、それまで
に作成したタイトルは残って
います。一度スタンバイス
イッチを下げ、もう一度上げ
てからやり直してください。
タイトルの作成に5分以上か
かりそうなときは、「ビデオ」
にしておくか、カセットを取
り出しておけば電源は切れま
せん。



1 [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のとき タイトルボタンを押す。

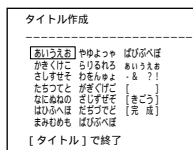
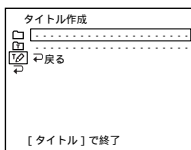


2 コントロールダイヤルを回して、「」を選 び、ダイヤルを押す。



3 コントロールダイヤルを回して、1行目また は2行目の「--- ...」を選び、ダイヤルを押す。

1行目はオリジナル1。2行目はオリジナル2。

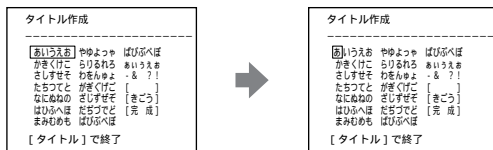


タイトルを作る(つづき)

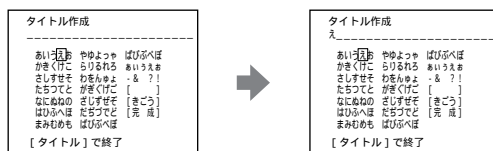
[きごう] を選ぶと
アルファベットや数字などが
選べる画面が出ます。[かな]
を選ぶと、元の画面に戻りま
す。

文字を消すとき
[←] を選びます。一番後ろの
文字が消えます。

- 4** コントロールダイヤルを回して、希望の文字列を選び、ダイヤルを押す。



- 5** コントロールダイヤルを回して、希望の文字列を選び、ダイヤルを押す。



- 6** 手順4、5を繰り返して希望のタイトルを作る。

- 7** コントロールダイヤルを回して、[完成] を選び、ダイヤルを押す。
タイトルが記憶される。

- 8** タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。

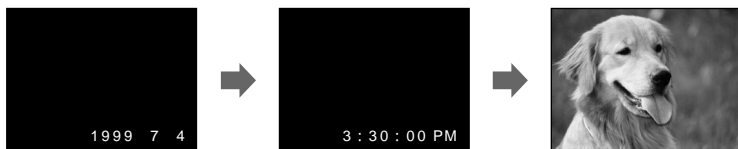
作成したタイトルを変更する

手順3で変更したいオリジナルタイトルを選び、ダイヤルを押す。[←] を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

撮影中に手動で日時を記録する

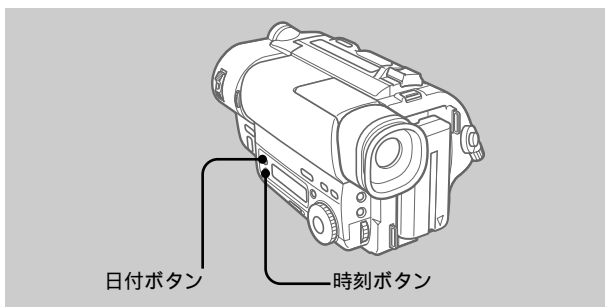
画像に日付や時刻を記録するにはオートデート機能(14ページ)のほかに、手動でも記録することができます。あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめ

します。撮影中でも画像の好きなところに日時を記録できますが、日時を入れたままにしておくと、映像の邪魔になったり編集したときに表示された日時が前後することがあります。



ご注意

- オートデート実行中は、日付・時刻ボタンは動きません。
- 手動で記録した日時をあとで消すことはできません。



[撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
日付を入れる 日付ボタンを押す。
時刻を入れる 時刻ボタンを押す。
日付と時刻を同時に入れる 日付ボタンと時刻ボタンを押す。

表示を消すとき
もう1度押す。

テープに合わせてきれいに撮る - ORC設定

テープの種類や状態に合わせて、最適な状態で録画できるように自動的に調節します。



カセットを入れて撮影を始める前。

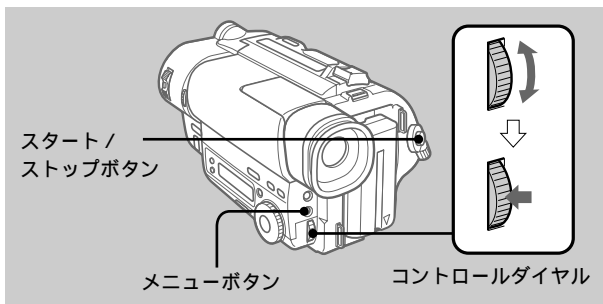
カセットを取り出すとORC設定は解除されます。カセットを入れるたびに設定し直してください。

カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープ（上書き録画が不可になっているテープ）にはORC設定はできません。

録画済みのテープにORC設定をすると約0.1秒間の無記録部分ができます。ただし、その部分から続けて撮影すれば無記録部分はなくなります。

ORC設定を確認するときメニュー画面を出して、「ORC設定」を選びます。「完了」表示が出たらORCは設定済です。

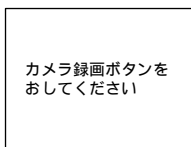
ORCとは
オフティマイジング オプティマイジング
Optimizing the ザ
レコーディング コンディション
Recording Conditionの略
です。



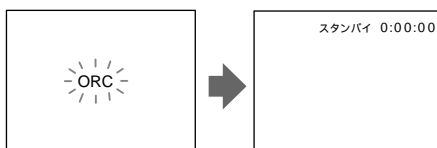
1 [撮影スタンバイ中]にメニューボタンを押す。

2 コントロールダイヤルを回して、アイコン「」を選び、ダイヤルを押す。

3 コントロールダイヤルを回して、「ORC設定」を選び、ダイヤルを押す。



4 スタート/ストップボタンを押す。
ORC表示が点滅する。
設定が終わると（約10秒後）撮影スタンバイに戻る。



設定完了です

内蔵ビデオライトを使う

暗いところで撮影するときは、ビデオライトの光の届く範囲は約1.5 mです。
を点灯して撮影してください。ビデオライト

⚠ 警告

点灯中と消灯した直後のランプには触らない
ランプおよびその周辺は非常に高温になります。やけどをするおそれがありますので、ランプには触らないでください。

⚠ 注意

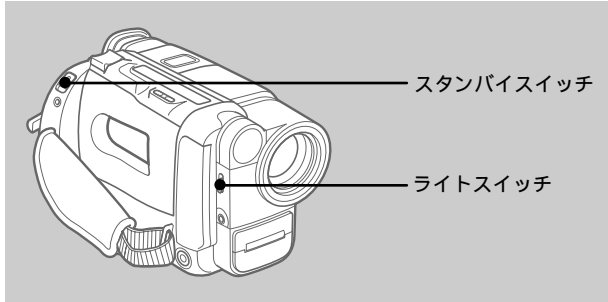
点灯中は直接ランプを見ない
強い光を直接見ると、目を傷めるおそれがあります。

ご注意

- ビデオライトを使用すると、バッテリーの使用時間は短くなります。ビデオライトを使用しないときは、必ずライトスイッチを「切」にしてください。
- 本機を使用しないときは、ライトスイッチを「切」にして、バッテリーを取りはずしておいてください。

オートモードのときは

- ビデオライトは自動的に点灯します。ただし、暗い場所でも被写体が白かったり光っていたりすると、ビデオライトが消えることがあります。このような場合は、ライトスイッチを「入」にしてください。
- 次の操作中はビデオライトが点いたり消えたりすることがあります。
 - プログラムAE
 - 逆光補正
 - 明るさ補正
- カセットの出し入れをするとき、ビデオライトが消えることがあります。



スタンバイスイッチと連動して点灯させる

- ① ライトスイッチを「入」にする。
- ② スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
ビデオライトが点灯します。
スタンバイスイッチを「ロック」にすると、ビデオライトは消えます。

暗い場所で自動的に点灯させる

- ① ライトスイッチを「オート」にする。
- ② スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
暗い場所では自動的にビデオライトが点灯します。
ビデオライトは点灯したままにしておくと、約5分後に自動的に消えます。もう1度点灯させたいときは、スタンバイスイッチを一度「ロック」にしてから、「スタンバイ」にします。

使い終わったら

ライトスイッチを「切」にする。

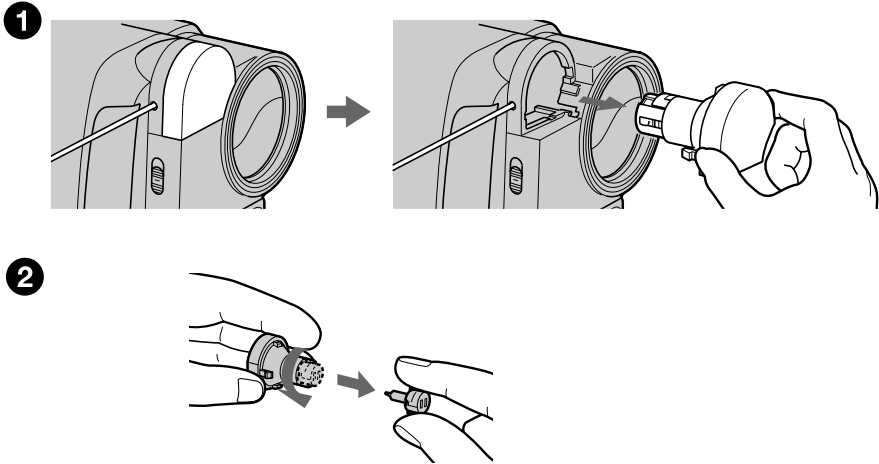
被写体へのライトのあてかた

- 室内で撮影するときなどに使用すると、被写体をきれいに写せます。
 - 広角の画面を撮影するときには、周辺の光量が不足します。そのときは中央の被写体にライトをあて、スポットライトとしてご使用ください。
 - 逆光の場合、ライトを併用すると、カメラ側を向いた被写体が暗くなりません。
屋外撮影では、カメラを太陽に向けないようにご注意ください。
- 室内で撮影する場合、照明に蛍光灯が使われていると、画像にちらつきが出ることがあります。ライトを併用すると色ムラが消え、比較的きれいな画像になります。

ランプを交換する

交換用ランプはソニーハロゲンランプXB-3D(別売り)を使用してください。

ランプの交換は、必ず電源ソースを取りはずしてから行ってください。



ご注意

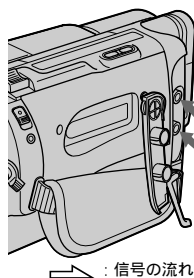
- 点灯中に切れたランプは、高温になっています。交換は、ランプが冷えてから行ってください。
- 新しいランプは直接手で触れずに、乾いた布などでくんで取り付けてください。ランプの表面に指紋や汚れが付いたときは、きれいにふき取ってください
- ライト内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。内部の点検などはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

- ライトユニットの下部にあるボタンを、針金など先端が細いもので押しながら、ユニットを取りはずす。
- ランプを左回りに回してユニットから取りはずす。
- 新しいランプをとりつける。
- ランプを右回りに回してユニットに取り付け、ユニットを本機に取り付ける。

他のビデオへ録画する

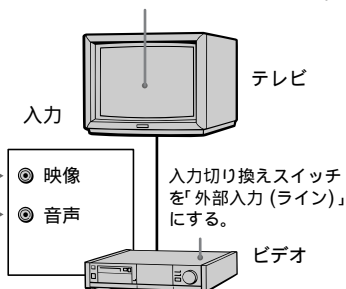
本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。

再生側



録画側

テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。



カウンターなどの画面表示を出す
録画側のテープに記録されます。表示を消しておくことをおすすめします。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。
Hi8, **Hi8^{Mini}**, **DX**, **DX^{Mini}**, **VHS**, **VHS^{CR}**, **S-VHS**, **S-VHS^{CR}**, **B**

ファインシンクロエディット対応
本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能を持つビデオデッキと本機のLANC端子(63ページ)をLANCケーブル(別売り)でつなげば、より精度の高い編集ができます。

- 1 本機に撮影済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。
- 2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 3 メニューで「エディット」を「入」にする。(42ページ)
- 4 本機のテープを再生し、他のビデオに録画したい場面より少し前で**II**一時停止ボタンを押す。
- 5 録画機を録画一時停止状態にする。
- 6 本機の**II**一時停止ボタンを先に押し、数秒後に録画機の**III**を押す。
ダビング・編集が終わったら、メニューで「エディット」を「切」にする。

タイトルを入れるとき

「タイトルを入れる」(31ページ)の手順を行う。

バッテリー以外の電源で使う

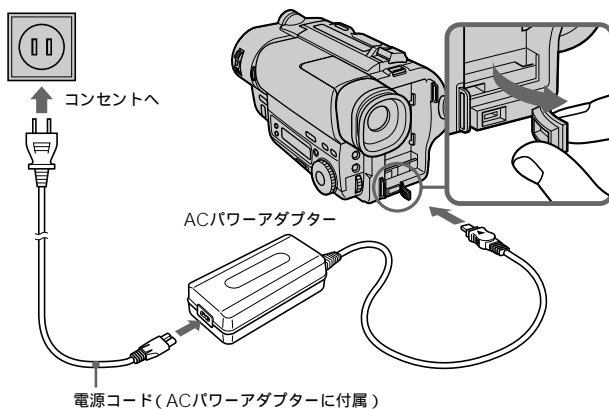
テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントや自動車用の電源

装置（別売り）を使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

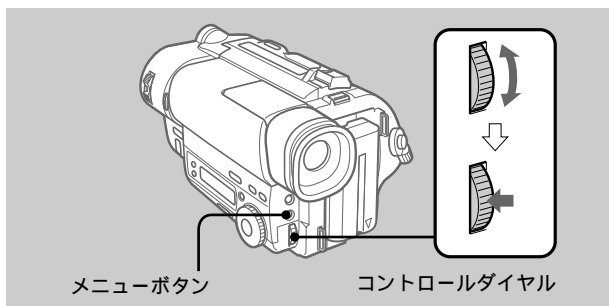
ご注意

電源供給はDC入力端子が優先されます。バッテリーで使用するときに、コンセントから電源コードを抜いても、DC入力端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

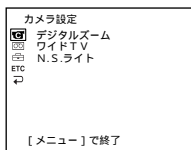
コンセントにつないで使う



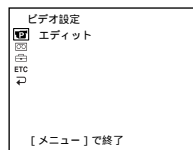
メニューで設定を変える



- 1** [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のとき
メニューボタンを押す。

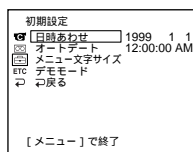
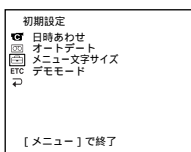


撮影スタンバイ中のとき
（「カメラ」のとき）

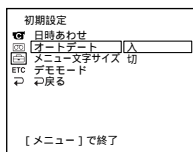
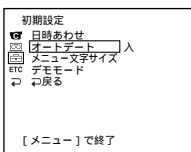


「ビデオ」のとき

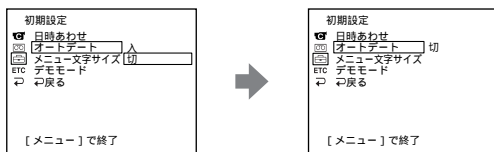
- 2** コントロールダイヤルを回して希望のアイコンを選び、ダイヤルを押す。



- 3** コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。



-
- 4** コントロールダイヤルを回して設定を切り換え、ダイヤルを押す。



-
- 5** 必要なだけ手順2～4を繰り返す。

手順2に戻るには、コントロールダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

使いこなすーその他の使いかたー

メニューで設定を変える(つづき)

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の 印側に設定されています。

電源スイッチが「ビデオ」または「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
📀 テープ残量表示	オート	以下のときにテープ残量を表示する。 1. 電源/テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。2. ▷再生ボタンまたはリモコンの画面表示ボタンを押してから8秒間。3. 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	通常はこの位置へ。
	入	テープ残量を常に表示する。	テープ残量が気になるとき。
☰ メニュー文字サイズ	ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	通常はこの位置へ。
	2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	メニュー画面が見えにくいとき。
🔊 ETC おしらせブザー	入	撮影スタート/ストップ時や、誤った操作をしたときにブザーが鳴る。	通常はこの位置へ。
	切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
🔊 ETC リモコン	入	付属のワイヤレスリモコンが動く。	通常はこの位置へ。
	切	リモコンが働かない	他機のリモコンによって誤動作するときなど。

電源スイッチが「ビデオ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
🔊 ETC エディット	切	—	通常は必ずこの位置へ。
	入	編集時の画質劣化を低減する。	ダビング・編集で本機を再生機として使うとき。

LPモードについて
本機のLPモードで録画したテープを再生するときは、本機をお使いになることをおすすめします。
他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキで再生すると、映像や音声にノイズが出ることがあります。他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキのLPモードで録画したテープを本機で再生する場合も同様です。

電源をはずして5分以上たつと「リモコン」、「エディット」はお買い上げ時の設定に戻ります。その他のメニュー項目は、ボタン型リチウム電池が入っていれば、電源をはずしても設定を保持しています。

電源スイッチが「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
📷 デジタルズーム	入	18倍を越えるズームはデジタルズームになる。(72倍まで)	通常はこの位置へ。
	切	デジタルズームを使用しない。(ズームは18倍まで)	デジタルズームで画質が低下するのを避けるとき。
📺 ワイドTV	切	—	通常はこの位置へ。
	ワイドシネマ	ワイドシネマモードで撮影する。	詳しくは25ページ。
	ワイドフル	ワイドフルモードで撮影する。	
📷 N.S.ライト	入	NIGHTSHOTライトを使用する。	詳しくは24ページ。
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
📹 録画モード	SP	SP(標準)モードで録画する。	通常はこの位置へ。
	LP	SPモードの2倍の録画時間で録画する。	長時間録画したいとき。
📹 ORC設定		テープに最適な状態で録画する。	詳しくは36ページ。
🕒 日時あわせ		時計を合わせ直すとき。	詳しくは46ページ。
🕒 オートデート	入	1日1回撮影のはじめ10秒間、オートデート機能が働く。	通常はこの位置へ。
	切	オートデート機能を解除する。	撮影日を記録したくないとき。
📺 デモモード	入	デモンストレーションを表示する。	本機の機能を一覧するとき。
	切	デモンストレーションを表示しない。	デモンストレーションを表示したくないとき。
ETC 時差補正		時差の設定をする。	詳しくは48ページ。
ETC 録画ランプ	入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	通常はこの位置へ。
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。	被写体に撮影していることを意識させたくないとき。

デモンストレーションは

- 本機にカセットが入っていると、入/切ができません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」に設定されています。カセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」にすると約10分後にデモンストレーションが始まります。
- すぐに見るには、カセットを取り出してメニューで「入」を選び、メニュー画面を消し

ます。電源を切ると自動的に「スタンバイ」に戻ります。

- カセットを入れると、デモンストレーションが中断されません。通常の撮影には影響ありません。デモンストレーションの設定は自動的に「スタンバイ」に戻ります。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、「NIGHTSHOT」が表示され、デモンストレーションは

始まりません。また、メニューでもデモモードが選べません。

LPモードで撮影中はスタンダード8ミリ方式で録画されます。

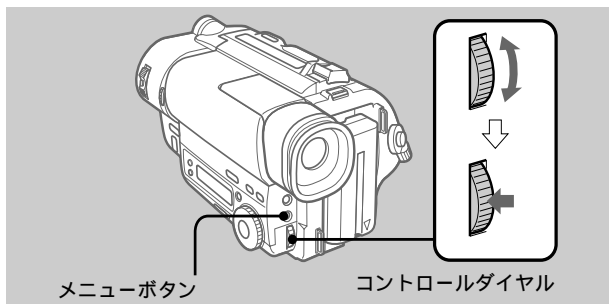
ORCとは
オフタイムイジニング ザ レコーディング
 Optimizing the Recording
コンディション
 Condition (録画状況の最適化)
 の略です。

日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時に、あらかじめ日付・時刻が設定されています。


使う? 電源を取り付けていないときにボタン型リチウム電池が消耗したとき。

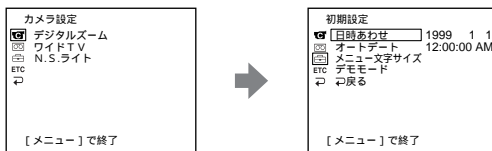
ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。



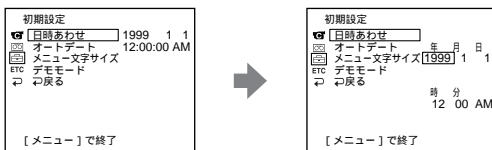
年 月 日 時 分の順で合わせます。

① [撮影スタンバイ中]にメニューボタンを押す。

② コントロールダイヤルを回してアイコン「」を選び、ダイヤルを押す。



③ コントロールダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、ダイヤルを押す。

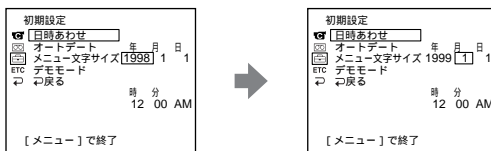


真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正
午は12:00:00PMと表示し
ます。

4 「年」を合わせる。

コントロールダイヤルを回して「年」を合わせ、ダイヤルを押す。

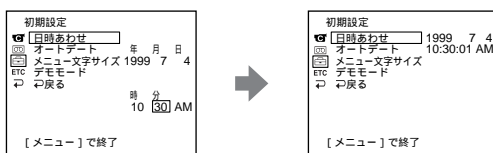
年表示は次のように変わる。



5 手順4と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

6 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時にコントロールダイヤルを押す。時計が動き始める。



7 メニューボタンを押す。

メニュー画面が消え、時刻表示が出る。時刻表示を消すには、時刻ボタンを押す。

日付・時刻を確認する

日付を確認する→日付ボタンを押す。

時刻を確認する→時刻ボタンを押す。

日付と時刻を同時に確認する→日付ボタンと時刻ボタンを押す。

もう1度押すと消える。

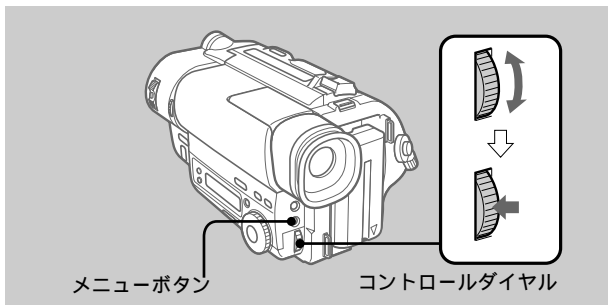
時差補正

時差を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます。また、時差を0に設定することにより、簡単にもとの場所の時間に戻すこともできます。



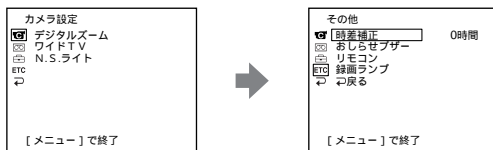
海外など、時差がある場所で撮影するときなど。

時刻が設定されていないと時差補正の設定はできません。

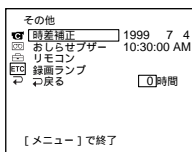


1 [撮影スタンバイ中]にメニューボタンを押す。

2 コントロールダイヤルを回してアイコン「ETC」を選び、ダイヤルを押す。

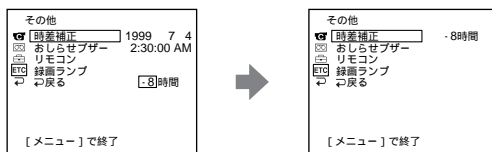


3 コントロールダイヤルを回して「時差補正」を選び、ダイヤルを押す。



-
- 4** コントロールダイヤルを回して時差を設定し、ダイヤルを押す。

時刻も時差に合わせて変わる。



-
- 5** メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

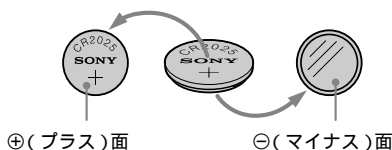
ボタン型リチウム電池を交換する

電源をつけたまま交換します。

ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入/切に関係なく保持するためです。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。

いつ使う?

電源スイッチを「カメラ」にするとファインダーに「ボタン型リチウム電池を取りかえてください」のメッセージが出るとき。

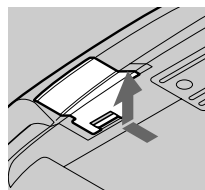


ボタン型リチウム電池について

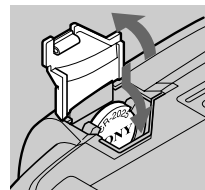
- ボタン型のリチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れてたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

お買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池はお買い上げ後、1年もたないことがあります。

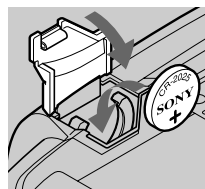
1 ボタン型リチウム電池ぶたをずらす。



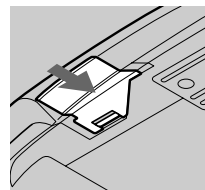
2 ボタン型リチウム電池ぶたを開け、ボタン型リチウム電池を押し下げてから、引き出す。



3 新しいボタン型リチウム電池CR2025を⊕(プラス)面が見えるようにはめ込み、ふたを閉める。



4 ボタン型リチウム電池ぶたをずらす。



使えるビデオカセットと記録・再生方式

記録・再生するときの種類

本機ではHi8(ハイエイト)テープ**Hi8**とスタンダード8ミリテープ**8**が使えます。

Hi8(ハイエイト)テープ:

自動でHi8方式の録画→再生

スタンダード8ミリテープ:

自動でスタンダード8ミリ方式の録画→再生

他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

Hi8方式: 従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。

Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生できません。

“インフォリチウム”バッテリーをご利用いただくために

バッテリー残量はこうして計算される
ビデオカメラレコーダー使用時の消費電力は、その使用状況(オートフォーカスがどのような働きをしたかなど)に合わせて変化します。つまり、使用状況によってバッテリーの消費量は異なります。

“インフォリチウム”バッテリーは、ビデオカメラレコーダーの使用状況を確認しながら、その消費電力を測り、電池残量を計算しています。そのため、使用状況の変化によっては、残量表示が一度に2分以上減ったり、増えたりすることがあります。

ご注意

残量時間が5～10分と表示されているときでも、使用環境によってはファインダーに☹が点滅することがあります。

より正しいバッテリー残量を得るには
ビデオカメラレコーダーを「撮影スタンバイ」にして、静止している被写体に約30秒以上向けたままにしておいてください。このとき、ビデオカメラレコーダーは動かさないでください。

もし、正しい残量を表示していないと思われる場合は、バッテリーを再度満充電してください。ただし、高温/低温での長時間使用や、何度も充電を繰り返したバッテリーは、満充電をしても正しい表示に戻らないことがあります。

取扱説明書に記載されている連続撮影時間と残量表示が異なる理由

撮影時間は、周囲の温度や環境などにより変化し、低温下で使用すると撮影時間は特に短くなります。





取扱説明書に記載の連続撮影時間は、満充電(または実用充電)したバッテリーを摂氏25度の環境下で使用したときの値です。実際の使用では、周囲の温度や環境が異なるため、残量時間が取扱説明書に記載の連続撮影時間とは異なることがあります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、ソニーサービス窓口またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

ファインダーに「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。57ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none">電源スイッチが「カメラ」になっていない。テープが終わりになっている。カセットが誤消去防止状態になっている。テープがヘッドドラムに貼りついている(結露)。	<ul style="list-style-type: none">「カメラ」にする。巻き戻すか、新しいテープを入れる。そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	13 11、20 11 58
すぐに撮影が止まる。	スタート/ストップモードスイッチが「  地面撮り防止」または「5秒」になっている。	スタート/ストップボタンを押すごとに撮影を始める/止めるようにするときは、「  」にする。	15
電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	1度スタンバイスイッチを下げたから、もう1度上げる。	13
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	12
オートフォーカスが働かない。	<ul style="list-style-type: none">手動ピント合わせになっている。オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	<ul style="list-style-type: none">フォーカススイッチを「自動」にする。手動でピントを合わせて撮影する。	30 30
フェーダーボタンが働かない。	スタート/ストップモードスイッチが「5秒」または「  地面撮り防止」になっている。	「  」にする。	15

故障かな？と思ったら(つづき)

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ファインダー内に⊗が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	58
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	—	—
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	—	—
ファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	45
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTスイッチが「入」になっている。	「切」にする。	24
画面が白すぎて画像が見えない。	•明るいところでNIGHTSHOTスイッチを「入」にしている。 •逆光補正をしている。	•「切」にする。または暗いところで撮影する。 •逆光補正を解除する。	24 21
明るさ補正またはプログラムAEが働かない。	NIGHTSHOTスイッチを「入」にしている。	「切」にする。	24

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない。	•電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 •テープが終わりになっている。	•「ビデオ」にする。 •テープを巻き戻す。	19 20
画像がぼけたり、映らなかったりする。	•テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。 •メニューの「エディット」が「入」になっている。 •ビデオヘッドが汚れている。	•調整し直す。 •「切」にする。 •別売りのクリーニングカセットできれいにする。	18 44 58

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ / カメラにしても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが消耗している / 入っていない / 消耗が近い。 • ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 充電されたバッテリーを取り付ける。 • コンセントに差し込む。 	8、9 4、41
バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> • 温度が極端に低いところで撮っている。 • 充電が不十分。 • バッテリーそのものの寿命。 	<ul style="list-style-type: none"> • 十分に充電する。 • 新しいバッテリーに交換する。 	— 9 8
カセットが取り出せない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電源(バッテリーやACパワーアダプター)がはずれている。 • バッテリーが消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源をきちんと接続する。 • 充電されたバッテリーを取り付ける。 	41 8、9
Ⓜや▲が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	58

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> • メニューの「リモコン」を「切」にしている。 • リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 • リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 • 乾電池そのものの寿命。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「入」にする。 • 障害物を取り除く。 • ⊕極と⊖極を正しく入れる。 • 新しい乾電池に交換する。 	44 — 64 64
日付または時刻表示が「--:--」になる。	—	日付、時刻を合わせ直す。	46
ピープ音が5秒間鳴りつづける。	本機に異常が発生している。	自己診断表示を参照してください。	57
バッテリー充電中、表示窓に何も表示がでない。または表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> • ACパワーアダプターが外れている。 • バッテリーが故障している。 • インフォリチウム以外のバッテリーを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> • きちんと接続する。 • ソニーサービス窓口にご相談ください。 • インフォリチウムバッテリーをご使用ください。 	41 — 8

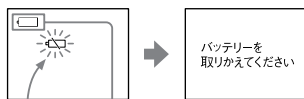
警告表示とお知らせメッセージ

ファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、() 内のページにあります。

- 表示は実際には白色です。
- ♪はお知らせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量

ファインダー (お知らせメッセージ)



遅い点滅 バッテリー残量表示

バッテリー残量表示について

InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーをお使いのときは分表示も出ます。



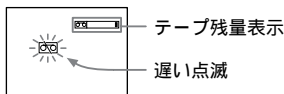
(残量表示が□になると⚡マークが点滅する。)

バッテリーの寿命

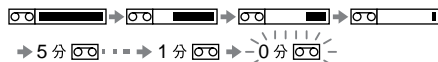
“インフォリチウム”バッテリーをお使いのときのみ表示されます。

このバッテリーは古くなりました
取りかえてください

テープ残量

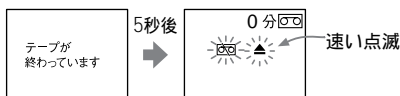


テープ残量表示について



(残量表示が「5分」になると⚡マークが点滅する。)

♪テープの終わり



日時・時刻の未設定 (46ページ)

メニューで
日付 時刻を
あわせてください

バッテリーの種類

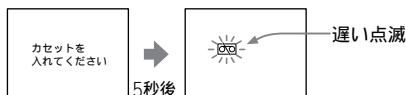
本機はインフォリチウム
バッテリー専用です。

“インフォリチウム”
バッテリーを
つけてください

ボタン型リチウム電池の消耗 / ボタン型リチウム電池が入っていない (50ページ)

ボタン型
リチウム電池を
取りかえてください

♪カセットが入っていない

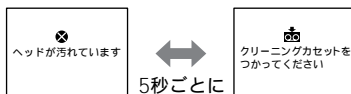


♪カセット誤消去防止 (11ページ)



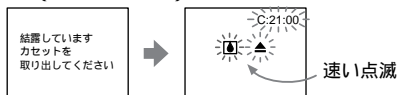
カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

ヘッド汚れ (58ページ)



クリーニングカセットできれいにする。

♪結露 (58ページ)



テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

自己診断機能が働いている (57ページ)

本機が正しく動作していないとき、自己診断表示機能で本機の状態をお知らせしています。「C:□□:□□」のような表示がでたら57ページをご覧ください。



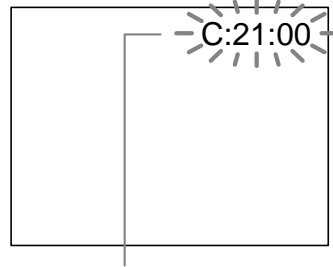
自己診断表示—アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機は正しく動作していないときに、ファインダーや表示窓にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態が分かるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。

ファインダー(または表示窓)



自己診断表示

「C:□□:□□」:

お客様自身で正常に戻せる状態

「E:□□:□□」:

テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口に相談していただく状態

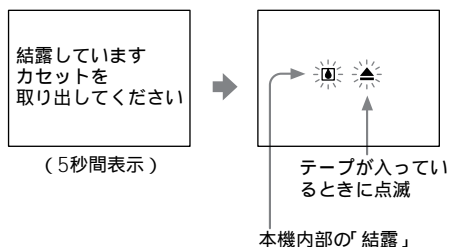
表示	原因	対応のしかた	参照ページ
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	58
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	58
C:23:□□	インフォリチウム以外のバッテリーを使用している。	インフォリチウムバッテリーをご使用ください。	—
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	<ul style="list-style-type: none"> •カセットを入れ直し、再度操作し直す。 •電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。 	—
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンター、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例: E:61:10	—

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起ると、ファインダーに下のよう警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。



結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、カセット取出しスイッチ以外は動きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても▲が点滅しなければ使用できます。

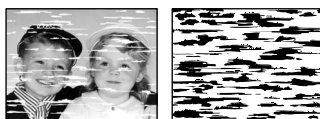
ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLD / 25CLDRを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- ファインダー内に「⊗ヘッドが汚れています」と「▲クリーニングカセットをつけてください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像



初期 → 末期

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起りやすいのは次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起りにくくするために本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン FM方式
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセット テープ
録画 / 再生時間	SPモード:2時間 LPモード:4時間(P6-120使用時)
早送り、巻き戻し時間	約5分(P6-120使用時)
撮像素子	1/4インチCCD固体撮像素子 約27万画素(有効画素数:約25万 画素)
ビューファインダー ズームレンズ	電子ビューファインダー(カラー) 18倍(光学) 72倍(デジタル) f=4.1~73.8mm (35mmカメラ換算では 39.4~709mm) F1.4~3.0 フィルター径37mm
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	2ルクス(F1.4) 0ルクス(NIGHTSHOT時)
被写体照度範囲	2~100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

映像出力端子	ピンジャック(1) 75 不平衡
音声出力端子	ピンジャック(1) 327mV、(47k 負荷時) イン ピーダンス 2.2k 以下
RFU DC出力端子	特殊ミニジャック DC5V
LANC端子	ステレオミニミニジャック(Ø2.5)
マイク入力端子	ミニジャック 0.388mV、低インピーダンスマ イク用 DC2.5~3.5V、出カインピーダ ンス6.8k (Ø3.5)

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力 (バッテリー使用時)	2.4W
動作温度	0 ~ +40
保存温度	-20 ~ +60
最大外形寸法	107 × 107 × 193mm (幅×高さ×奥行き)
本体質量	約 780g(本体のみ)
撮影時総質量*	約 920g *バッテリーNP-F330、ボタン型 リチウム電池CR2025、テープ P6-120含む。
内蔵マイクロホン	モノラル
付属品	ACパワーアダプター AC-L10A (1) バッテリーパック NP-F330(1) ワイヤレスリモコン(1) 単3形乾電池(リモコン用)X(2) AV接続ケーブル(1) ボタン型リチウム電池CR2025 (本体に装着済み)X(1) チャリングバッグ(1) ショルダーベルト(1) 撮り方ビデオ(1) ハイエイトビデオカセット(1) 取扱説明書(1) 安全のために(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)

ACパワーアダプター AC-L10A

電源	AC100~240V、50/60Hz
定格出力	DC8.4V、1.5A
動作温度	0 ~ +40
保存温度	-20 ~ +60
最大外形寸法	約125 × 39 × 62mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約280g(本体のみ)
電源コードの長さ	約2m
本体接続コードの長さ	約2m

バッテリーパック NP-F330

電圧	7.2V
容量	5.0Wh(700mAh)
種類	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

その
他

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません

万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生ができなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター(本書の裏面参照) お買い上げ店、または添付の"ソニーご相談窓口のご案内"にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

製品の保有期間について

当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき




本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10Aは、AC100V~240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	不要です。 ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

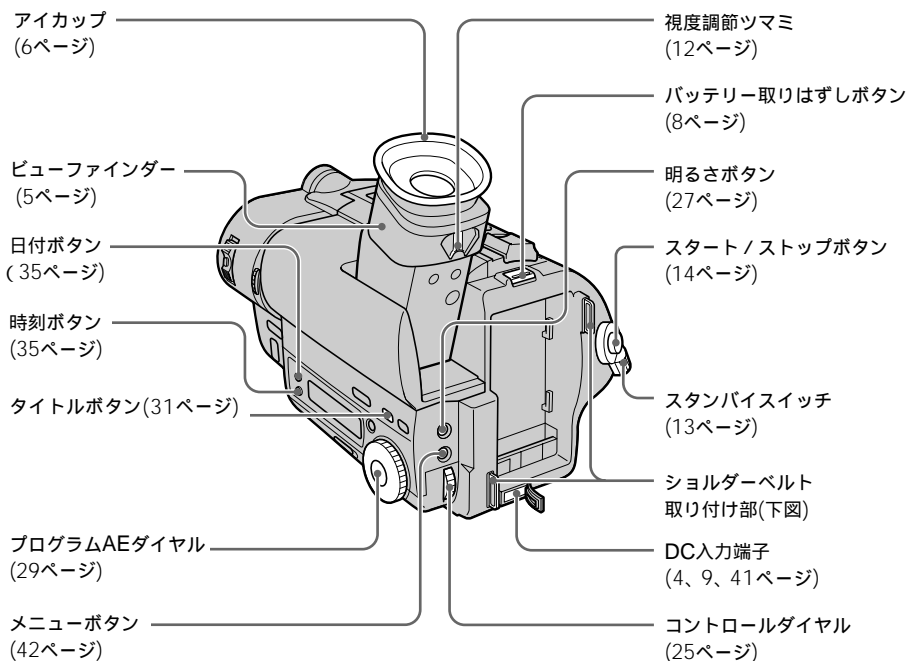
日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)を採用している国または地域(五十音順)

- ・アメリカ合衆国
- ・エクアドル
- ・エルサルバドル
- ・カナダ
- ・キューバ
- ・グアテマラ
- ・グアム
- ・コスタリカ
- ・コロンビア
- ・スリナム
- ・セントルシア
- ・大韓民国
- ・台湾
- ・チリ
- ・ドミニカ
- ・トリニダード・トバゴ
- ・ニカラグア
- ・ハイチ
- ・パナマ
- ・バミューダ
- ・バルバドス
- ・フィリピン
- ・フェルトリコ
- ・ベネズエラ
- ・ペルー
- ・米領サモア
- ・ボリビア
- ・ホンジュラス
- ・ミクロネシア
- ・ミャンマー
- ・メキシコ

各部のなまえ

使いかたの説明は、()内のページにあります。

本体



その他

デモンストレーションについてメニューで設定しますが以下の手順でもデモンストレーションが見られます。

ただしNIGHTSHOTが「入」になっていると、デモンストレーションは見られません。

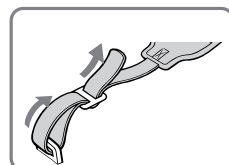
1. カセットを取り出して、電源スイッチを「ビデオ」にする。
2. スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

3. ▷再生ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

デモンストレーションが出ないようにするには

1. 電源スイッチを「ビデオ」にする。
2. スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
3. □停止ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

ショルダーベルトの取り付けかた



各部のなまえ(つづき)

ビデオ操作ボタン (20ページ)



エディットサーチボタン
(17ページ)

内蔵ビデオライト
(37ページ)

レンズカバー
(13ページ)

録画 / バッテリーランプ
(14ページ)

赤外線発光部
(24ページ)

内蔵マイク

リモコン受光部
(64ページ)

表示窓
(66ページ)

逆光補正ボタン
(21ページ)

ピクチャーエフェクト
ボタン(26ページ)

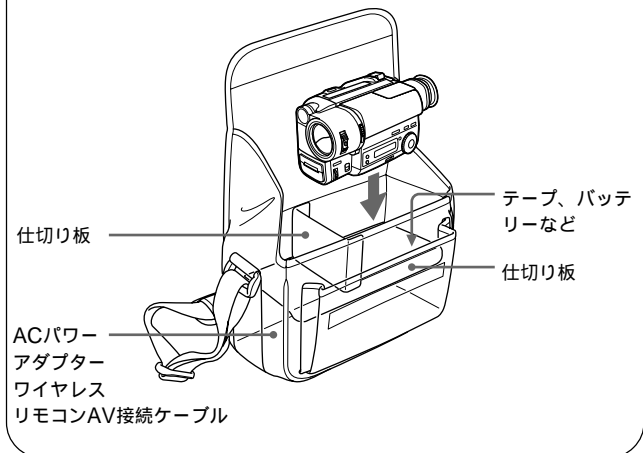
カウンターリセット
ボタン
(14ページ)

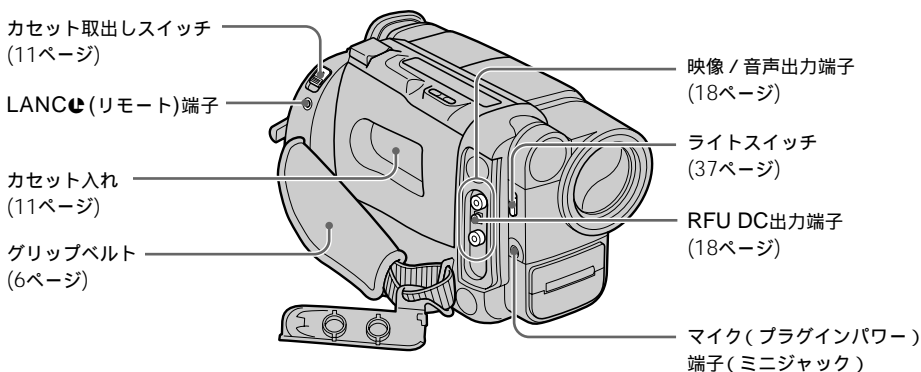
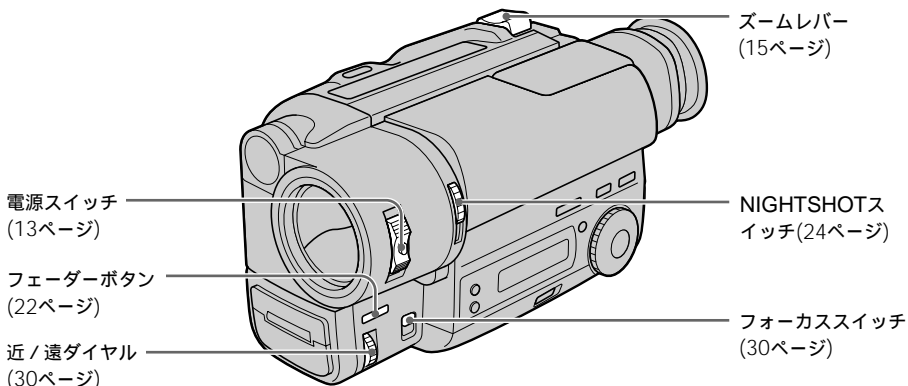
スタート/ストップ
モードスイッチ
(15ページ)

三脚用ネジ穴(底面)
(7ページ)
ネジの長さが6.5mm未
満の三脚をお使いくださ
い。ネジの長い三脚では
しっかり固定できず、本
機を傷つけることがあり
ます。

ボタン型リチウム
電池入れ
(50ページ)

キャリングバッグへ収納するとき





この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。



ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

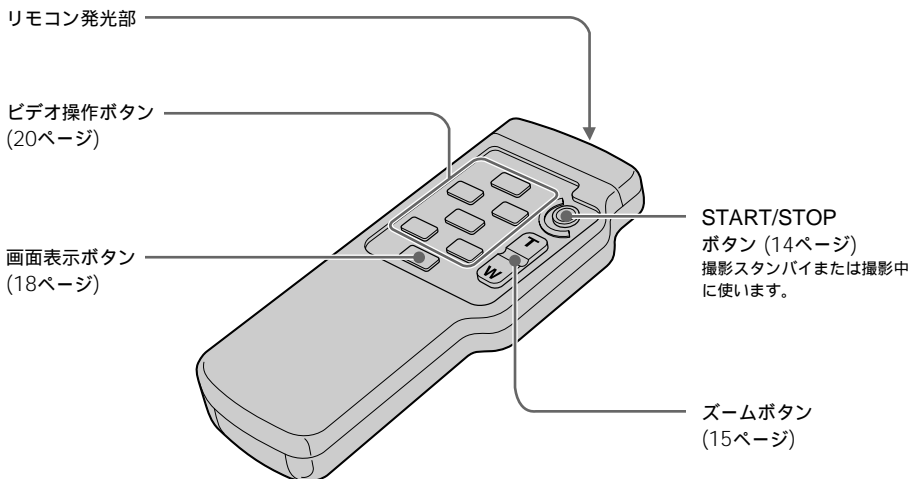
LANC (リモート) マークについて

☪は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

別売りの外部マイクを使う場合、マイク(プラグインパワー)端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。2ピンプラグのマイクの場合は、DC出力端子を外部マイク用電源端子としてお使いください。

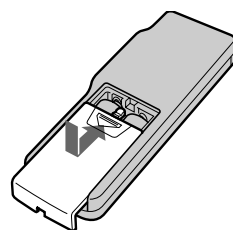
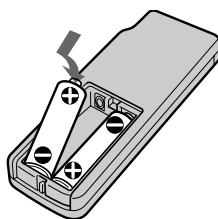
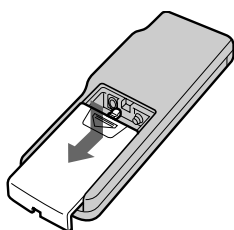
各部のなまえ(つづき)

ワイヤレスリモコン



電池の入れかた

- 1 押しながらずらす。
- 2 入れる。
- 3 元に戻す。

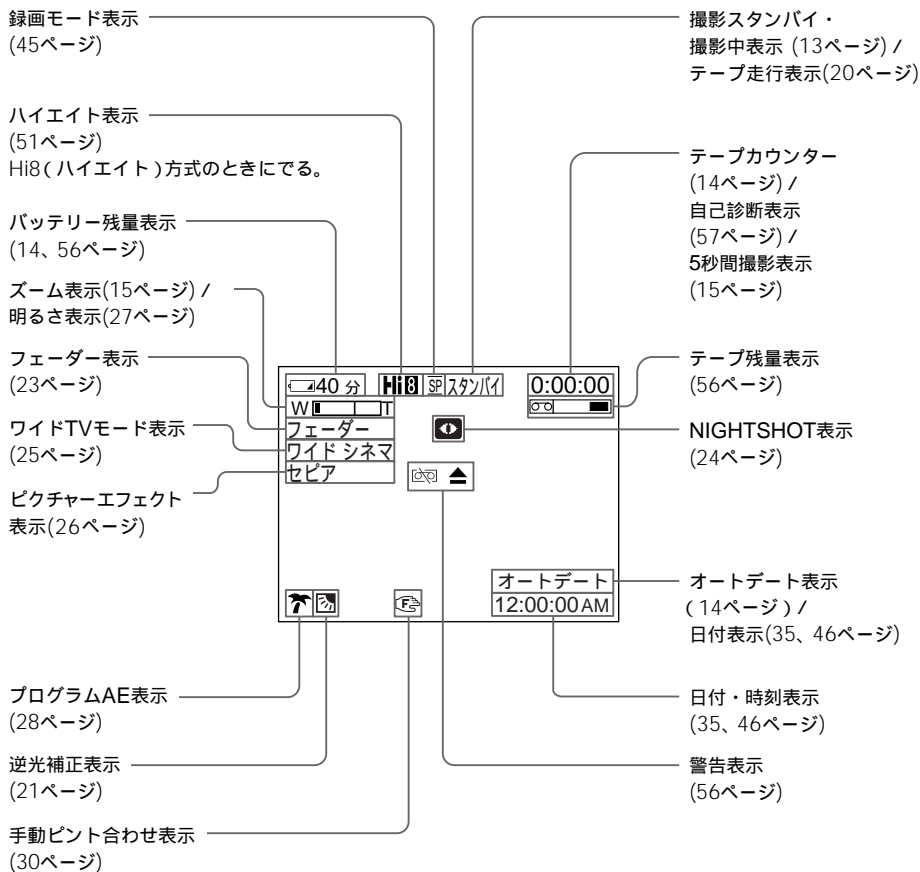


リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモード

スイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

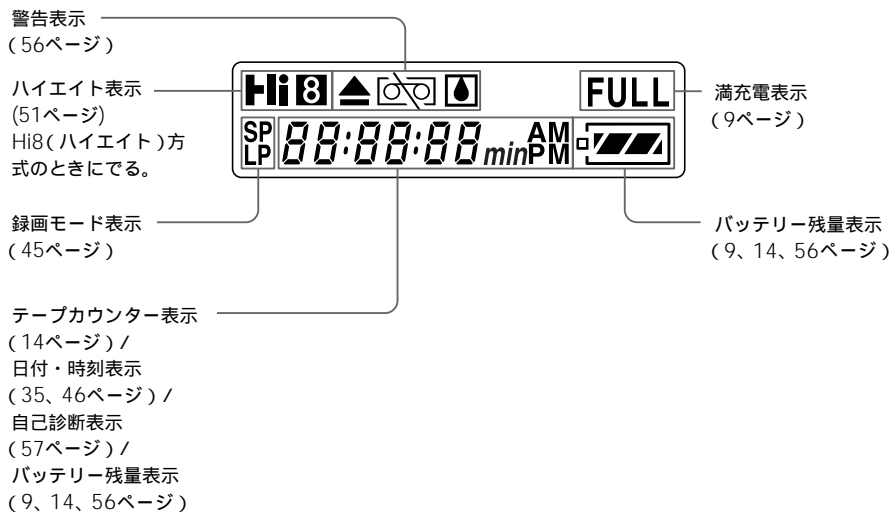
ファインダーの表示



その他

各部のなまえ(つづき)

表示窓の表示



用語解説

カ行

逆光補正 ...21ページ

逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ...13ページ

「撮影を待機する・準備する」という意味。スタンバイスイッチを上げ、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

自動ピント合わせ...30ページ

横方向に走査する映像信号からピントを検出する機能。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがある。

視度調節...12ページ

ビューファインダー内の接眼レンズの位置を動かし、撮る人の視力に合わせて、ファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。

ナ行

ノイズ

静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

エーイー プログラムAE ...28ページ

被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には6種類のモードがある。シャッタースピードやアイリス(絞り)をモードにより自動で調節する。

ヘッド...58ページ

映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード...64ページ

リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3などの種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

ワ行

ワイドTVモード ...25ページ

再生したときにワイド画面(横:縦=16:9)になるように撮影するときの設定。ワイドシネマ、ワイドフルの2種類がある。

ワイドシネマ

横縦比4:3の画像の上下に黒い帯を入れて横縦比を16:9にしてテープに記録する。映る範囲は狭くなるがふつうのテレビで再生したときに横縦比16:9で再生される。

ワイドフル

横縦比16:9のワイドテレビで再生したときに画面いっぱいに映るように画像を縦長に圧縮して記録する。横縦比4:3のふつうのテレビで再生すると縦長に押しつぶされた映像になる。

用語解説(つづき)

アルファベット順

ハイエイト

Hi8方式 ...51ページ

スタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。

Hi8方式の他のカメラで記録されたテープも、本機で自動的に再生することができます。

アイディーン

ID-1方式...25ページ

ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名称。

エルピーエスピー

LP/SPモード ...44ページ

ロング プレイング モード スタンダード プレイング
Long playing modeとStandard playing
modeの略でテープスピードモードの名称。

LPモードはSPモードの録画時間の2倍になる。

ナイトショット

NIGHTSHOT...24ページ

夜間赤外線を利用して明かりのない暗い場所でも目に見えないものを撮影できる機能。

エヌティーエスシー

NTSC方式...60ページ

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のビデオでは再生できない。

海外で本機を使うときは、ご注意ください。

オーアールシー

ORC設定...36ページ

テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質で録画する機能。一度設定すればテープを出さないかぎり設定は保持される。

アールエフユー

RFUアダプター...18ページ

ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に変換して、テレビの1または2チャンネル(国内仕様の場合)で再生できるようにするもの。

索引

ア行

明るさ調節	27
“インフォリチウム” バッテリー	52
エディット	40
エディットサーチ	17
おしらせブザー	44
お知らせメッセージ	56
お手入れ	58

カ行

海外で使うとき	60
外部マイク(別売り)	63
カウンター	14
カセットの入れかた	11
画面表示	18
カラーテレビ方式	60
逆光補正	21
グリップベルト	6
警告表示	56
結露	58
広角	15
高速アクセス	20
故障かな?と思ったら	53
誤消去防止ツマミ	11

サ行

再生	19
撮影が終わったら	16
撮影する	13
撮影内容の確認	17
三脚	7
自己診断表示	57
時差補正	48
実用充電	9
視度調節	12
充電	9
手動ピント合わせ	30
ズーム	15
スタート/ストップモード	15
接続(テレビで見るとき)	18
(編集のとき)	40

タ行

タイトル	31
地面撮り防止	15
つなぎ撮り	14
テープ残量表示	56
テープの終わり表示	56
デモンストレーション	45
テレビで見る	18
電源(家庭用コンセント)	41
(バッテリー)	8
撮る姿勢	6

ハ行

バッテリー	8
バッテリー残量表示	56
ピクチャーエフェクト	26
日付・時刻合わせ	46
日付・時刻の記録	35
ビデオライト	37
ピント合わせ	30
ファインダーの表示	65
フェーダー	22
フェードイン・フェードアウト	22
フォーカス	30
プログラムAE	28
ヘッド	58
ヘッド汚れ表示	58
編集	40
望遠	15
ボタン型リチウム電池	50

マ行

満充電	9
メニュー	42
モザイクフェーダー	22

ラ行

リモコン受光部	62
レックレビュー	17
録画モード	45

ワ行

ワイドTV	25
ワイヤレスリモコン	64

アルファベット順

ACパワーアダプター	9
AV接続ケーブル	18、40
Hi8(ハイエイト)方式	51
ID-1方式	25
LANC端子	63
NIGHTSHOT	24
NTSC方式	60
ORC設定	36
RFUアダプター	18

その他

こんなときはこの機能

撮影状況に合わせたい

明るい

- スキー場、真夏の海岸
ビーチ&スキーモード(28ページ)
- 舞台、結婚式
スポットライトモード(28ページ)

- 白い服の人物が白い壁の前にいる
逆光補正(21ページ)

- 背後に光があり顔が暗くなる
逆光補正(21ページ)

暗い

- 夜景、夕景、花火
サンセット&ムーンモード(28ページ)

- 明りの無い場所で撮りたい
NIGHTSHOT(24ページ)

撮りたいところが広い

- 風景モード(28ページ)

列車から窓の外を撮る

- 風景モード(28ページ)

被写体の動きが速い

- ゴルフスイングなど
スポーツレッスンモード(28ページ)

画像をこうしたい

効果的な場面転換をしたい

- フェードイン、フェードアウト(22ページ)

被写体を引き立てたい

- ソフトポートレートモード(28ページ)

映画のように横長の画像にしたい

- ワイドTVモード(25ページ)

意図的にピントを合わせたい

- 手動ピント合わせ(30ページ)

タイトルを出したい

- タイトル機能(31ページ)

ズーム時の画質の低下を抑えたい

- メニュー：デジタルズーム(45ページ)

画像にデジタル処理をしたい

- ピクチャーエフェクト(26ページ)

テープの状態に合わせて録画したい

- メニュー：ORC設定(36ページ)

ご案内

ソニーではお客様の技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。

お使いになって不明な点や技術的な相談は下記
までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：0564-63-1177

受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時

(ただし、年末、年始、祝日を除く)

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ご相談になるときは次のことをお知らせください

型名：CCD-TR290PK

故障の状態：できるだけ詳しく

お買い上げ年月日